

広報

リクベツ

RIKUBETSU

- 平成15年度 町政執行方針・教育行政執行方針
- 教育振興賞表彰式

4

2004
NO517



春 新たな旅立ち

平成16年度 町政執行方針

平成16年陸別町議会3月定例会の開会にあたり、私は、平成15年6月定例会での新たな任期に向かつての、三つの基本姿勢と五つの重点施策を基本に、平成16年度町政執行の所信を申し上げ、町議会の皆さん、町民の皆さんに、町政全般へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平

成2年度国の一般会計
 収入額60兆1千億円
 をピークとして、平成16年度
 政府予算案では約41兆7千4
 百億円と大幅に落ち込んでお
 ります。

さらに平成16年度一般会計
 予算総額82兆1千億円に占
 める国債は36兆6千億円と過
 去最大の発行額であり、公債
 依存度は実に44・6パーセン
 トの割合を占めております。
 このことから国の財政悪化
 は大変深刻な状況にありま
 す。これら国政の要因に運動
 した、平成16年度地方財政対
 策の概要では、前年度の地方
 交付税18兆1千億円から16兆
 9千億円への減額（前年度比
 6・5パーセントの減）、臨
 時財政対策債（平成13年度か

ら平成15年度までの時限措置）
 については、平成16年度以降3
 年間の延長がされましたが、前
 年度5兆8千7百億円が4兆1
 千9百億円と28・6パーセント
 の大幅な減額となりました。

当町のような人口の少ない地
 方自治体は、歳入財源の半分以上
 を地方交付税と臨時財政対策
 債に依存しており、平成12年度
 の普通交付税約27億9千9百万
 円（特別交付税を含む合計は約
 31億5千3百万円）をピークに、
 平成13年度から減額され平成15
 年度の普通交付税は約21億8百
 万円（特別交付税は未決定）と、
 実に3年間で約7億円が減額さ
 れております。

臨時財政対策債については、
 平成13年度1億3千万円、平成
 14年度2億7千7百万円、平成
 15年度3億4千2百万円であ
 り、地方交付税の減額に対処す
 る財源として借入れを行って
 きました。

当町は、平成15年度まで予算
 編成方針として、当初予算にお
 いて地方交付税を留保する手法
 をとってきましたが、平成16年
 度は当初予算時に留保する見込
 みを持つことが不可能となり、
 国の地方財政対策の概要から推

定した地方交付税・臨時財政対
 策債の最大の見込額を計上する
 こととしました。

普通交付税は平成15年度確定
 額より12・0パーセント、2億
 5千8百万円を減額し、18億5
 千万円を計上いたしました。

特別交付税については、約1
 億8千万円を計上し、前年度当
 初予算額より8千万円の増額を
 見込んだところであります。

臨時財政対策債は、前年度確
 定見込額3億4千2百万円より
 9千2百万円を減額（27・0パ
 ーセント減）し、2億5千万円
 を計上いたしました。

また、町税特に固定資産税で
 は平成15年度の評価替等により
 1千8百万円の減収を見込みま
 した。

平成16年度においては、敬老
 年金を廃止し、新たに節目の
 「敬老祝い金」制度を創設、敬
 老会のあり方、旅費（日当廃
 止）・費用弁償の見直し、職員
 の56歳昇給停止・職員の特殊勤
 務手当の見直し等、各種団体の
 補助金等についても削減を基本
 に予算を計上いたしました。ま
 た、生きがい活動支援事業の利
 用料、銀河の森天文台・コテー
 ジに係る入館料及び使用料につ
 いて引き上げの見直しを行いま
 した。

平成17年度以降の各種使用料

等の歳入全般の見直し、人件費
 の削減を含む全ての歳出に係る
 事務事業の見直しを行い、行政
 の効率化のためコスト削減を今
 年度より職員による課題の整
 理・検討・協議を行い、それに
 基づく行政改革推進委員会・議
 会等との協議を進め、自立の財
 政運営の方針を確立していくこ
 とを最大の課題として進めたい
 と考えております。いずれにし
 ても国の三位一体の改革による

地方自治体の財政は国庫補助金
 の一般財源化や地方交付税の減
 額等から、次年度以降、大変厳
 しい財政運営を強いられること
 は確実であり、町議会の皆さん、
 町民の皆さんのご理解を賜り、
 今後一層、行政改革を進め、
 行政のスリム化と町民との協働
 の町づくりを進めていく考えで
 あります。次に、平成16年度予
 算に盛り込みました重点的な事
 業についてご説明申し上げます。

産

業振興関係では、平成15
 年度に制定した「いきい
 き産業支援基金」を活用した、
 農業コントラクター事業への支
 援、内容として、町が作業
 機械を購入し、企業体に貸付を
 行う制度であります。また、新
 農業人育成対策事業としては、
 研修期間中の生活の場を確保す
 るための仮設住宅の設置に係る

助成、民間による賃貸・借家住
 宅の建設に係る助成、新エネル
 ギーの活用として住宅等への太
 陽光発電施設の設置に係る費用
 の助成等を新規事業として計上
 いたしました。

福

祉等関係では、「保健・医
 療・福祉」の拠点施設と
 して建設しています診療所・保
 健センターは、11月のオープン
 を目指し、現診療所の解体・施
 設備品・外構工事に係る予算を
 計上しております。また、平成
 15年度に建設しました、介護予
 防施設（ふれあいの郷）及び共
 同生活支援施設（福寿荘）は、
 4月1日にオープンを予定して
 おりますが、両施設の管理運営
 に係る経費及び外構工事を計上
 しております。更に、痴呆性高
 齢者グループホームは、同事業



が補助採択された後に関係する予算を計上したいと考えております。

高齢化社会が急激に進む中、町として敬老年金について、新たな制度への廃止を検討し、この間、関係する老人の方々と話し合いを進めてきました。幸いにも敬老年金の廃止については、皆さんのご理解を賜り、新たに節目の「敬老祝い金」制度を創設し、関係する予算を計上いたしました。更に、敬老会についても見直しを行い、皆さんにタウンホールにお集まりをいただき、催し物等を楽しんでいただく内容に変更し、関係する予算を計上しております。また、お年寄りの方々の外出する機会を拡大し、お互いの交流が図られるよう、地域生活交通確保対策事業との連携の中で、ハイヤー利用への助成を新規事業として計上いたしました。

建設

建設関係では、町道、農道及び林道の新設・改良等事業につきましては、財政状況と緊急度を鑑み前年度からの継続事業を主として計上いたしました。継続事業につきましては、今年度で完了する事業が多く、平成17年度以降の建設事業は減少する予定になっております。

世界

世界ラリー選手権大会については、当町が、オートスポーツの町として全国的に知られておりますが、そのことによりアジアパシフィックラリー選手権大会を2回、当町及び帯広市等を会場として開催いたしました。その開催実績が認められ2004年世界ラリー選手権大会(WRC)第11戦が日本で初めて9月3日から5日まで当町を含む十勝を会場として開催されることと決定されました。この間、オートスポーツ関係者の大会誘致へのご尽力に対し、深く感謝とお礼を申し上げますとともに、WRC開催への支援

と協力のための予算を計上いたしました。

教育

教育関係では、平成15年度河島つる子(陸別町出身)様から教育振興資金として多額のご寄付をいただいたところであります。現在、陸別中学校暖房設備は、昭和54年の中学校新築時から25年が経過し、その更新が課題となっておりましたが、このたびの浄財を充てさせていただきました。暖房設備等の更新改修のための予算を計上させていただきますました。

合併

合併問題については、2月20日に、足寄町で開催された「第4回池北三町合併協議会」の内容を踏まえ、3月下旬に第5回目の合併協議会を開催し、解散の決定を行うこととなりました。

当町の今後の対応については、自立も含めた財政のシミュレーションを早い機会に作成し、町議会の皆さん・合併問題陸別町民検討会議の皆さんに示し、協議を進めたいと考えており、更には他町との合併についても検討を行うこととなります。いずれにしても今日の財政問題等を含めますと「合併」・「広域連合」・「自立」等の選択肢の中から結論を出すことが必要であり、現行特例法或いは平成17年4月以降の新法での判断等、町議会並びに合併問題陸別町民検討会議の皆さんとも十分意見交換、話し合いを行っていきたくと考えております。

ふるさ

ふるさと銀河線の存続問題については、北海道のふるさと銀河線の考え方は、あくまでバス転換であり、その考えを強く沿線に迫ってきています。

鉄道存続を望む沿線自治体にとっては大変厳しい状況となっておりますが、今後、沿線首長

会議を開催し、協議することとしております。いずれにしても鉄道存続にむけ沿線と連携を図り努力を続けていく決意でありますので、町議会の皆さん、町民の皆さんのご理解を賜りたいと考えております。

平成

平成16年度は、行財政運営・市町村合併問題・ふるさと銀河線問題など、陸別町の将来を左右する大きな局面の年でありました。この難局を町議会の皆さん・町民の皆さん、町職員が一体となって乗り切っていくよう、私は、全力を挙げて努力する所存であります。

次に、新年度予算案のうち、特徴的なものについて、ご説明を申し上げますと存じます。

総務

総務費関係であります。最初、池北三町合併協議会事業について申し上げます。協議会に係る予算を計上しましたが、当協議会が解散の方向となったことから、予算の執行を見合わせる事となりましたので、ご理解のほどお願い申し上げます。



町 有林管理事業については、除間伐や下刈等の保育事業が一定程度進んだことにより、事業対象面積が減少し事業費が大幅にダウンしました。今後につきましては、長伐期実施や複層林施業の導入を図るなど、多様な森林の造成を検討して参りたいと考えております。

民 問活用住宅建設事業ですが、これは、個人や企業等のいわゆる民間の活力による賃貸住宅の経営や職員住宅の建設を促すための支援策であります。このことが町内の経済活性化のきっかけとなることを大いに期待しているところであります。また、将来に向けては、民間との適度なバランスを保ちつつ、住宅政策を展開していく所存であります。

太 陽光発電設置事業については、陸別町の気象の特性を生かした、環境負荷の少ない自然エネルギーである太陽エネルギーを利用した住宅用発電システムの導入促進を目的として、その足がかりとするための必要な経費を計上いたしました。

外 国青年招へい事業については、平成3年9月に初

代国際交流員としてタミー・クルーガーさんが着任し、以来5人の方々が町内に住み、多くの町民と交流を深めることで、英会話指導やカナダの文化を伝えていただきました。特に、ドン・マイヤホッグ氏におかれましては、平成9年から今年の8月まで7年間という長期に亘り指導・交流をいただいております。この間、カナダとはより身近になり、町民の皆さんの中にも国際的な視野が広がったものと思えます。13年間の当事業により、初期の目的が達せられたと判断し、平成16年度においてひとつの区切りとさせていただきます。

民 生費関係については、高齢者等交通費助成事業についてであります。年々高齢者比率が高くなっている現状の中での住みやすいまちづくりの一環として、一般的に交通弱者といわれています高齢者や障害者の方々にとって、少しでも外出しやすき環境を提供するため、ハイヤー運賃の一部を助成することとしました。

一方、今年度まで実施しておりました敬老年金制度につきましては、平成16年度より敬老祝い金制度として、喜寿、米寿、長寿(百歳)を迎えられた方々

に、お祝いを差し上げることとさせていただきます。なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。次に、介護予防拠点施設管理事業であります。平成16年度から供用を開始します介護予防施設「ふれあいの郷」と高齢者共同生活支援施設「福寿草」の施設維持に必要な経費を計上いたしました。

衛 生費関係については、保健センター建設事業につきましては、本體工事が順調に進んでおり、予定どおり本年11月オープンを目指しております。本體工事の約70パーセントと備品等、現診療所建物の解体並びに建物周辺の外構工事に必要な経費を計上いたしました。

公衆浴場管理事業であります。保健センターに設けました公衆浴場の維持管理経費を11月からの5ヶ月分計上いたしました。

歩行浴の施設も併設しており、健康増進の一助になることを期待し、多くの町民の皆さんの利用をお願いしたいと思っております。

生ごみ処理機等購入助成事業につきましては、継続して行っており、引き続き、ゴミの分別収集並びに減量、再利用につきましてなお一層のご理解ご協力を賜り

労 たいと存じます。勤費関係については、昨年(15年度)に引き続き、緊急地域雇用特別対策事業によって、地元雇用対策を実践して参ります。内容としましては、町道等の灌木処理、ふるさと銀河線各駅周辺の下刈並びに宇遠別奥の国有林「ふれあいの森」の遊歩道の整備を行います。

農 林業関係については申し上げません。新農業人育成対策事業であります。これは、平成16年度から新たに取組むものであります。

内容としましては、農業研修生について、簡易住宅を用意す

ることで、よりスムーズな受入の環境づくりを行うものであります。

また、新農業人育成事業については、前年に引き続き、営農実習並びに農業経営をスタートする際に奨励金という形で支援を行うものであります。

畜産関連団体の補助金につきましては、団体の自立を求め、見直しをいたしました。

次に中山間地域総合整備事業であります。

内容は、鹿柵の設置であります。施工については、東斗満から殖産地区にかけての足寄町との町界部分であり、全延長1万8千3百5十メートルのうち陸



別町分が6千6百メートルであります。その地元負担分を計上いたしました。

次に国有林ふれあいの森整備事業であります。「ふれあいの森」として、国有林との協定を経て、整備を行うとするものであります。先ほどの緊急地域雇用特別対策事業と併せ、単独事業として作業路の補修や駐車場の整備を行う予算を計上しております。林道関係につきましては、普通林道宇遠別線開設事業が7百83メートルの用地確定測量を行って完了となります。また銀河の森線改良とポントナム川沿線改修に所要の予算を計上いたしました。

商

工費関係については、信用保証貸付金の原資につきましては、利用実績を鑑み2千5百万円の予算を計上させていただきますました。また、商工業を対象とした保証料補給事業や利子補給事業については、平成16年度においても継続することとしております。更に、商工業振興事業ですが、各補助金・交付金の一元化を図ったところであります。次にイベント関係について申し上げます。当町の三大イベントであります「オフロードレース全日本選手権大会・オールジャパンパッチ選手権大

会・しばれフェスティバル」は、関係者皆さん方のたゆまざる努力によって築かれ、全国的なイベントとして広く浸透してきましたが、今日の財政状況等を考えると、限られた予算の中で、創意、工夫のもとで続けていたいただきたい、所要の経費を計上いたしました。

土

木関係費については、まず、公用車購入事業であります。平成元年度に購入した現有車両は老朽化が著しく、特に災害、除雪時のパトロール業務に支障をきたす恐れが出てきたことから、平成16年度において更新することとしました。町道の維持補修並びに新設改良であります。必要性、緊急度を十分勘案して所要の予算を計上いたしました。なお、主な事業実施予定箇所は次のとおりであります。

- 東トナム8号線凍雪害防止
幅員5・5m/延長213m
- 利上中央幹線舗装
幅員5・5m/延長514m
- 緑町幹線歩道改良
幅員5・5m/延長100m
- 若葉2号線歩道舗装
幅員5・5m/延長180m
- 東トナム8号線舗装
幅員5・5m/延長400m
- 川向栄町線歩道改良

- 幅員2・5m/延長105m
- 若葉1号線道路改良
幅員5・5m(片2・5m)
延長100m
- 上足寄大菅地線舗装
幅員5・5m(片3・5m)
延長274m
- 東1条仲通交通安全一種
歩道拡幅(片3・5m)
延長140m

次に、公営住宅関係でございますが、第1若葉団地1棟8戸を2カ年で建設します。また、昨年度に引き続き緑町団地の水洗化につきまして、公営住宅3棟6戸、改良住宅6棟12戸並びに団地集会所1棟を実施いたします。

消

防費(災害対策)関係において、消防署・消防団等関係機関と連携を図った防災訓練を実施するために必要な予算を計上いたしました。内容につきましては、今後、関係機関と協議することとしております。

教

育費関係については、中学校の暖房設備の改修に必要な予算を計上させていただきました。史跡ユクエピラチャシ跡整備事業では、引き続き発掘調査・

環境整備事業など、所要の予算を計上いたしました。

災

害復旧費については、昨年8月9日から10日にかけての台風10号による被害のうち、作集川外4河川6箇所(河川災害に係る復旧費用)を計上いたしました。

次

に、特別会計関係については、従前より一般会計からの繰入金により当会計の収支バランスを保っておりますが、平成16年度におきましては国民健康保険基金からも繰り入れて予算を編成いたしました。

次に、直営診療施設勘定関係であります。本年11月からは、待望の新施設においての医療がスタートします。スタッフがよ



り一層奮起して、地域医療の安定充実と経営の向上に向け、努めて参ります。

次に、簡易水道事業並びに公共下水道事業関係について申し上げます。先に、水道・下水道審議会へ「水道・下水道事業の運営と料金のありかた」について諮問していただきましたが、その答申をいただいたところであります。

この答申を踏まえ、平成17年度からこれら料金の改定を行います。

以上が、3月定例議会にありましての所信の一端であります。

町議会の皆さん並びに町民の皆さんの一層のご理解とご協力を、心からお願ひ申し上げます。町政執行方針とい

平成16年度 教育行政執行方針

平成16年度の教育関係予算をご審議いただくにあたり、教育委員会所管の主な教育行政推進の施策について申し上げます。

最近の教育を取り巻く環境

は、少子・高齢化社会の進行、情報ネットワーク社会の到来、国際化の進展、科学技術の発展、地球環境問題の深刻化など大きく変化しています。この様な時代を生きていくためには、柔軟に対応できる資質と、能力を身に付けた人材の育成が求められています。また、昨今国では教育委員会制度や義務教育費国庫負担制度の在り方等について、見直しをすべく検討が進められていますところですが、こうした今日の情勢を踏まえながら、教育委員会としては、本



町の特色を生かした教育行政の推進に取り組んでまいります。

学

校教育について申し上げます。教育改革の大きな柱である、新学習指導要領による教育課程が本格的に実施されて3年目を迎えるところです。各学校においては子ども一人ひとりに「確かな学力」の向上と、「豊かな心」を育み、「信頼される学校づくり」を進めるなど、新しい時代に生き抜く力を培う特色ある教育が求められております。

「確かな学力」の向上のためには、子どもたちが、

社会の変化の中で主体的に生きていくために必要な基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、自ら学び自ら考える力を育むことが重要です。陸別小学校での毎日

の「朝学習」や、陸別中学校での選択教科の中で苦手な教科を克服する「チャレンジタイム」は、基礎学力の定着を図るために大切な学習ですので、継続しながら指導内容の充実を図ってまいります。また、指導方法の工夫改善を図るため、陸別小学校は昨年度から引き続き十勝管内教育委員会連絡協議会の教育実践指定を受けて、「主体的・創造的に活動できる子どもを育てる」を研究主題に、個のステップを重視した「生活科」「総合的な学習の時間」の実践研究を行います。陸別中学校は、文部科学省から指定を受けた「学力向上フロンティア事業」の最終年を迎え、生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を推進し、わかる授業や学ぶ意欲を高めるための指導内容、指導方法の実践研究に取り組み、その成果を普及すべく集大成に入ります。小中学校ともに教員一人ひとりが教えるプロとしての指導力向上を目指し、なお一層の校内研修の充実・改善に取り組んでまいります。

「豊かな心」の育成のためには、子どもたちに善

悪を判断する規範意識、倫理観、そして命を大切にし、他人を思いやる心など豊かな人間性や社会性を育むことが大切です。そのため、道徳教育の中で、子ども一人ひとりが自分自身や未来を見つめ、人間として必要な道徳性を養うために、社会奉仕活動や自然体験活動等を実践してまいります。更に、道徳教育の補助教材として文部科学省が作成した「心のノート」は、道徳の時間に限らず学校教育の様々な場面において活用し、学校と家庭をつなぐ心の架け橋としての役割を果たしてまいります。また、読書は子どもたちに豊かな感性や情操、そして思いやりの心を育むうえで大切なことから、陸別小学校の全校一斉の朝読書も継続しながら充実を図ってまいります。



「信頼される学校づくり」の推進のためには、こ

れまで以上に校長を中心として、教職員が一体となって教育活動に取り組み、保護者や地域住民からの強い信頼と協力を得ることが重要です。そのため学校運営については、学校自らの内部評価に加え、保護者等の外部評価を導入し、その結果を取り入れるなど、学校としての責務を十分に果たしていく必要があります。各学校では、学校だよりや、地域参観日、ホームページの開設、保護者等へのアンケート調査を実施し、結果の分析及び公表を通して、その思いや願いに応える授業づくり、学校づくりを進めてきています。これからも、各学校の教育活動や学校運営の状況につ

いて、保護者等に対し積極的に情報を提供しながら、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指してまいります。

特色ある教育活動としては、児童生徒がそれぞれの発達段階に応じた学びを充実するために、本年度から小学校と中学校が相互に連携を図り、創意工夫を生かした学校教育を推進する「小・中学校連携教育推進事業」を実施してまいります。

一例としては、小学校の理科の実験授業を中学校の理科担当教員が効果的に行ったり、両校の教員がチーム・ティーチングによる授業の交流を行うなど、教員同士が協力し合い、学びの連続性や学習内容のつながりについて実践研究を行いながら教育効果を高めてまいります。学校施設の整備であります。本年度は陸別中学校の温水ボイラー更新の予算を計上いたしました。設置後25年を経過し老朽化が進み、暖房機器としての機能を維持することが限界になりましたので、通年安心して授業が受けられるように教育環境の整備を図ってまいります。

次に社会教育について申し上げます。

町民が生きがいをもって暮らす

すためには、誰もが健康で自由に学び、その成果を生かすことができる生涯学習社会の実現が求められています。

公民館は地域における最も身近な学習拠点であり交流の場でもあります。ここでは趣味や教



養に関する講座、読み聞かせなど家庭教育に関する講座を開設しています。今後も町民のニーズにあった学習機会の提供を図ってまいります。また、最近図書室での図書の貸出冊数、利用者数が増加傾向にありますので、教養や学習に必要な図書・資料を整備し、町民の皆さんにより利用しやすい施設として充実させてまいります。

なお、十勝管内公共図書館協議会では、本年度から図書館の広域個人貸し出し事業を実施することになりました。この事業により十勝管内に居住する方

は、各市町村にある図書館（室）で本を借りることができるようになりましたので、町民への普及宣伝に努めてまいります。

平成3年度より町から事務委任を受けた外国青年招

へい事業については、現在までカナダから5名の方々を国際交流員として招へいし、語学指導や各種行事への参加による交流活動、姉妹都市カナダ・ラコーム町との情報交換等を行ってきましましたが、町民の皆さんの国際理解が深まったものと判断しているところ です。現在の国際交流員の任期満了後は、今後の情勢などを見極めながら語学指導や異文化交流等について新たな視点から検討してまいります。

体験活動は子どもたちの心を耕し、新たな自分との



出会いの機会を広げるものです。昨年度から社会教育指導員が中心となり、楽しく学び体験することができると好評です。今年も「わくわく体験事業」を開設してきましたが、この事業に参加した子どもや保護者に好評ですので、本年度も引き続き楽しいプログラムを企画し運営してまいります。

芸術文化は、人々がゆとりと潤いのある生活を実現

していく上で、大きな力になるものであります。このため、文化団体が行う自主的な文化活動への支援を、文化協会と連携を図りながら進めてまいります。

長い歴史の中で育まれてきた文化財は、歴史や文化

をより理解するために大切なものであり、将来の文化の発展の基礎をなすものです。また、アイヌの人たちが、古くから北国の風土に根ざして育んできた文化は、北海道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものです。史跡ユクエビラチャシ跡の保存整備事業については、専門家の保存整備委員の意見を参考にし、昨年度に引き続き文化財保存整備事業として、国と道から財政補助を受けながら、発掘調査と雨水排水工事を進めてまいります。

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものに

する素晴らしい文化の一つであります。近年、余暇を利用した体力・健康づくりに対する国民の関心の高まりなどを背景に、スポーツ需要が増大しております。このため、誰もが生涯にわたって個々の体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ振興のための諸条件の整備が求められています。

本町においても高齢化社会を迎えた今日、町民の健康への自己管理意識が高まりつつあり、軽スポーツとしてのパークゴルフ、ミニバレー、ウォーキング等が普及し定着しています。これからも体育指導委員や体育連盟との連携を図りながら、町民一人ひとりが生涯にわたり、健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の有効活用や、スポーツを楽しむ機会を提供に努めてまいります。

以上、教育推進の主な施策内容について申し上げます。また、教育環境が益々変化の中で、更に各関係機関と密に連携を図りながら効率的な執行に努めてまいりますので、今後とも町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成15年度 陸別町教育振興賞表彰

平成15年度陸別町教育振興賞表彰式が、3月20日タウンホールで行われました。文化奨励賞（一般部門）で神 道子さん、平等フサ子さんら個人の部43名、団体の部8団体31名が受賞しました。（団体の個人名は敬称略）

★文化奨励賞（一般部門）

- 東1条2区 神 道子さん
- 第24回全十勝陶芸広尾展 一般の部 金賞
- 東1条2区 平等フサ子さん
- 第24回全十勝陶芸広尾展 一般の部 金賞

☆文化努力賞（一般部門）

- 元町 高橋悦子さん
- 第34回全道書道コンクール
- 毛筆2部 優秀作

- 緑町 高橋理恵さん
- 第34回全道書道コンクール
- ペン字の部 優秀作

- 新町2区 今野可奈さん
- 第34回全道書道コンクール
- ペン字の部 特 選

★児童生徒文化奨励賞（生徒部門）

- 下陸別 伊倉大亮さん（中3）
- 第46回十勝子ども大会
- 技術とものづくりの部 特 選

- 共栄第1 佐藤真由さん（中2）
- 第46回十勝子ども大会
- 技術・家庭の部 特 選

☆児童生徒文化努力賞（生徒部門）

- 共栄第1 畠野未菜さん（中2）
- 第46回十勝子ども大会
- 技術・家庭の部 入 選

- 共栄第1 浅井知生さん（中2）
- 第46回十勝子ども大会
- 技術・家庭の部 入 選

- 共栄第1 佐々木絵里香さん（中1）
- 第34回全道書道コンクール
- 毛筆の部 特別賞

- 新町1区 高橋拓郎さん（中1）
- 第35回記念全国学生書道展覧会 優秀作

- 栄 町 鹿野一三さん（中1）
- 第46回十勝子ども大会 絵画の部 入選

★児童生徒文化奨励賞（児童部門）

- 東1条1区 高萩 敏さん（小6）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 捉捉島賞（最優秀賞）

- 共栄第2 正者 瞬さん（小4）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 捉捉島賞（最優秀賞）

- 元 町 井上智奈都さん（小4）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 捉捉島賞（最優秀賞）

- 東1条2区 田口裕望さん（小3）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 捉捉島賞（最優秀賞）

- 共栄第2 加賀谷翔太さん（小3）
- 第46回十勝子ども大会 書道の部 特選

- 新町2区 坂東孝太さん（小3）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 捉捉島賞（最優秀賞）

- 若葉町 湯浅 葵さん（小3）
- 第46回十勝子ども大会 工作の部 特選

- 新町2区 広瀬 結さん（小2）
- 第35回記念全国学生書道展覧会
- 記念賞五席

- 下陸別 東海林孝文さん（小2）
- 第22回毎日こどもピアノコンクール
- 帯広地区大会 小学2年の部 特別賞

- 関 三好智也さん（小1）
- 第35回記念全国学生書道展覧会 最高賞

☆児童生徒文化努力賞（児童部門）

- 弥 生 櫻井絵梨さん（小6）
- 第46回十勝子ども大会 工作の部 入選

- 元 町 芳賀千咲子さん（小5）
- 第35回記念全国学生書道展覧会 優秀作

- 東1条1区 猪狩 巧さん（小5）
- 第46回十勝子ども大会 絵画の部 入選

- 栄 町 菊川未来さん（小5）
- 第46回十勝子ども大会 工作の部 入選

- 新町2区 阿部 遙さん（小4）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 国後島賞（優秀賞）

- 分 線 依田大樹さん（小4）
- 第46回十勝子ども大会 書道の部 秀作

- 栄 町 丹崎礼奈さん（小3）
- 第14回北方領土返還意識高揚習字展
- 国後島賞（優秀賞）



- 分 線 依田貴大さん(小3)
 第46回十勝子ども大会 工作の部 入選
 北斗満 工藤史啓さん(小3)
 第34回全道書道コンクール
 毛筆の部 優秀作
 共栄第2 空井賢斗さん(小3)
 第14回北方領土返還意識高揚習字展
 国後島賞(優秀賞)
 新町2区 久保友紀さん(小3)
 第34回全道書道コンクール
 硬筆の部 優秀作
 新町2区 阿部芳治さん(小2)
 第35回記念全国学生書道展覧会 優秀作
 東1条2区 小南裕貴さん(小1)
 第34回全道書道コンクール
 毛筆の部 優秀作
 栄 町 本田澁人さん(小1)
 第46回十勝子ども大会 工作の部 入選
 東1条2区 鈴木幹太さん(小1)
 第34回全道書道コンクール
 毛筆の部 優秀作
 ☆スポーツ努力賞(一般部門)
 陸別町ソフトボールチーム 11名(白川
 光男、宮古 稔、村本和弘、向井 悟、
 畠野昌弘、高萩将司、佐々木正彦、佐々
 木正義、城 昌章、小澤美紀、有田千栄

- 子)
 第3回十勝管内夏季スポーツフェスタ
 ソフトボール 準優勝
 陸別町バドミントン女子チーム 6名
 (大山口加代、川田咲恵美、穴澤裕江、
 武内ルミ、横山孝枝、横山喜江子)
 第3回十勝管内夏季スポーツフェスタ
 バドミントン女子 第3位
 陸別よろこび組 4名(平井久美子、山
 内和子、織田清美、東海林めぐみ)
 第11回ミニバレープレジデントカップ
 上湧別大会 女性の部 第3位
 陸別オーロラ4号 4名(平井 均、平
 井久美子、浦島健造、織田清美)
 2003陸別オーロラ杯ミニバレー交流
 大会 混成40歳以上の部 第3位
 ☆ジュニアスポーツ努力賞 (生徒部門)
 上斗満 平野絵里奈さん(中1)
 第21回全十勝中学校新人陸上競技大会
 1年女子1000m 第3位
 東1条2区 鈴木志歩さん(中1)
 第21回全十勝中学校新人陸上競技大会
 女子走高跳 第3位
 新町1区 野下直寛さん(中1)
 第23回道東・道北地区空手道選手権大会
 中学1年男子 組手の部 第3位

- 元 町 白取実希子さん(中1)
 第21回全十勝中学校新人陸上競技大会
 女子 4000m 第2位

☆ジュニアスポーツ努力賞 (児童部門)

- 共栄第2 佐川瑞穂さん(小6)
 第30回全十勝小学校陸上競技記念大会
 6年女子走高跳 第2位
 緑 町 中根凌佑さん(小4)
 第11回陸上競技フェスティバル
 4年男子800m 第3位
 陸別バドミントン少年団 2名(有田
 哲(小6)、高萩 敏(小6)) 第25回
 全十勝小学生バドミントン大会 6年生

以下男子ダブルス 準優勝

- 陸別剣道少年団 2名(井上智奈都(小
 4)、佐藤愛理(小3)) ほか1名
 第37回全十勝剣道連盟少年剣道団体優勝
 大会 低学年女子の部 団体戦 第3位
 陸別剣道少年団 1名 井上智奈都(小
 4)、ほか2名 第40回東北北海道剣道大
 会 小学生低学年女子の部 団体戦 第
 3位
 陸別剣道少年団 1名 久保友紀(小
 3)、ほか1名 第11回十勝東北部少年
 剣道本別大会 小学低学年女子の部 団
 体戦 第3位

公民館からのお知らせ

I 英語教室

- ① 英会話初心者コース (英会話の初歩コース)
 毎週木曜日 午後7:00~7:55
 場所 役場第4会議室
 ② 英会話初級者コース (英会話中心のコース)
 毎週木曜日 午後8:05~9:00
 場所 役場第4会議室
 ※平成16年度初日は5月6日(木)から
 ③ ドン先生の英語にふれよう (英会話の基礎の練習)
 毎月第2・第4月曜日 午前10:30~11:30
 場所 公民館講堂
 ※平成16年度第1回は5月10日(月)から
 お子さんを連れて来てOKです。

II 平成16年第1回ことぶき学級

- 日時 平成16年4月15日(木) 午前10:00~12:00
 場所 陸別町介護予防施設 ふれあいの郷
 内容 開級式・講話「震災からのメッセージ」
 - 教訓をどう生かすか -
 講師 那賀島社会教育指導員

III 講座開催希望募集案内

- 友だち、職場の仲間、ご近所などグループで“何かを学びたい”
 と考えたときは、是非ご相談ください。公民館講座として講師派
 遣などのご協力を考えています。
 要件 ① 10名程度のグループが対象です。
 ② 会場、時間は公民館を中心にご相談ください。
 ③ 営利目的の学習はご遠慮ください。

IV 連絡先 教育委員会社会教育担当 電話 7-2123

情報 INFORMATION

北海道警察官の募集について

- 1 北海道警察では次の日程で警察官の募集を行います。
願書の受付期間
平成16年4月6日(火) から平成16年4月23日(金) まで
- 2 試験日(第一次試験) 平成16年5月23日(日)
- 3 試験場所 帯広、釧路、北見など道内15会場
- 4 受験資格 A 区分(学校教育法による大学(短期大学を除く)等を卒業した者(平成17年3月見込者を含む)、昭和49年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた者
- 5 第1回試験はA区分(男性、女性)のみです。
第2回試験ではB区分(男性、女性)のみを実施します。
- 6 採用予定人員
A 区分(警察官(男性)) 215名
警察官(女性) 約35名
- 7 採用予定日
A 区分(平成17年4月以降(既に大学を卒業した者については、平成16年10月に採用される場合もある)その他
詳細につきましては警察署又は最寄りの交番・駐在所でお尋ね下さい。本別警察署(電話2-0110)
北海道警察ホームページ <http://www.police.pref.hokkaido.jp>



陸別町敬老会について

「陸別町敬老会」については、平成15年度まで各会場(タウンホール、勤労者会館、トラリ交流センター、中斗満交流センター、苦務交流センター、上斗満交流センター、小利別集会所、しらかば苑)において実施してまいりましたが、平成16年度からは開催方法や内容を改めて実施致します。

実施方法については、従来の各地域等会場による式典・飲食の方法から、飲食を廃止し、タウンホール会場のみで講演会(観劇、講演会等)の開催へと変更し開催することと致しました。

いろいろなお意見等もあろうかと存じますが、種々の問題点を考慮したうえでの変更ですので、皆様のご理解をお願い致します。

なお、平成16年度の開催にあたっては、対象者の皆さんにそれぞれご案内を差し上げる予定となっておりますのでご承知下さい。

また、従来お手伝いを頂いておりました、各地域の賛助会の皆さんや特別養護老人ホームしらかば苑の職員の皆さんにおかれましても、上記のとおりとなりますのでご承知下さい。

民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の誰もが幸せで安心した生活を送れるように応援します。
個人の秘密は守ります、何か心配ごとがありましたらご相談下さい。

<各地区民生委員・児童委員> (敬称略)

氏名	電話番号	担当地区
川口留美子	7-3932	共栄第1
佐藤 昭二	7-4365	共栄第2
七戸 一登	7-3739	若葉町
神 千那誠	7-2965	東1条1区、東1条2区
宮崎 和行	7-2339	大通、鉄道
佐久間勝義	7-2545	栄町、分線、下敷祿別
林 妙子	7-2462	緑町、元町
中尾美代子	7-2763	新町1区、旭町
江下 康雄	7-2342	新町2区、川向
菅野眞砂子	7-2280	恩根内、宇遠別、下陸別
美濃島功佳	8-2358	下登良利、上登良利、薰別
東原 義晴	7-2853	中陸別、共和、止若、作集、上陸別
川初 博司	7-3293	弥生、苦務、本苦務
副島 晴	7-3718	関、殖産、下斗満、東斗満、中斗満第1、中斗満第2
早坂 昇栄	7-2622	上斗満、北斗満、南斗満、西斗満
東雲 庄司	7-3749	川上、小利別、利上、林内、日宗
(主任児童委員)		
國部 和子	7-2033	町内全域
高橋 久恵	7-2838	町内全域

銀河の森コテージ村からのお知らせ

4月28日から5月5日、7月1日から9月30日の間のみコテージ使用料を下記の通り変更させていただきます。

	通常	4月28日~5月5日 7月1日~9月30日
6人用	18,000円	20,000円
6人用(半地下タイプ)	20,000円	22,000円
10人用	30,000円	33,000円

※1棟1泊の使用料です。

☆陸別町民の方及び3連泊以上使用する方は、1泊につき3,000円を割引いたします。ただし、4月28日から5月5日、7月1日から9月30日の間は適用されません。

自衛隊一般幹部候補生を募集します

[受付期間] 平成16年4月5日(月)~5月11日(火)

[応募資格] 22才以上26才未満の者

[試験期日]

・1次試験:平成16年5月22日(土)

・2次試験:平成16年6月22日(火)~

平成16年6月24日(木)のうち指定する1日

[入 隊] 平成17年3月下旬~4月上旬

[試験会場] 帯広(その他希望会場有り)

※詳しくは、役場総務課 TEL-1562-7-2141又は

自衛隊帯広募集案内所(帯広市西5条南13丁目第2いせきビル2F)

TEL 0155-23-8718

<http://www.obihir.o.pl.o.jda.go.jp>

E-mail plo-tokachi@mb.megafit.net

第16回パッチ選手権in陸別

4月11日(日) 午前10時から

参加料 1700円(パッチ・昼食込み)

参加資格 20歳以上の男女

問い合わせ 役場産業振興課 7-2141(135)

銀河の森天文台からのお知らせ

入館料を下記の通り変更させていただきます。

<昼間> 4月~9月 14:00~18:00
10月~3月 13:00~17:00

大人 300円・小人 200円

<夜間> 4月~9月 18:00~22:30
10月~3月 17:00~21:30

大人 500円・小人 300円



保健福祉センターからのお知らせ

平成16年4月1日から、新しい交通費助成制度を始めます。

- ①対象者
陸別町に住所を有する施設入所者以外の方で、4月1日現在で次のいずれかに該当する方。(陸別町の公簿に掲載されている方)
(1) 1級及び2級の身体障害者手帳の交付を受けている方
(2) A判定の療育手帳の交付を受けている方
(3) 1級及び2級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
(4) 満70歳以上の方
- ②助成方法
陸別町内のハイヤー営業車の利用に際し、初乗り料金から200円の自己負担額を差し引いた額を助成します。(超過料金は全額自己負担となります。)
- ③助成券
該当者には、陸別町が助成券を発行します。(郵送されます)
本助成制度を利用する際には、必ず助成券を乗務員に提示してください。
- ④その他留意事項
4月2日以降に本制度の対象者としての条件を満たす方は、次年度(平成17年度)当初に助成券を発行いたします。
本制度の実施に伴い、陸別町重度身体障害者交通費助成制度は廃止します。(従来のハイヤーチケットによる交通費助成)
上記条件に該当しているのに、助成券が郵送されなかった方は、役場保健福祉センター福祉担当(Ⅲ7-2141)にご連絡ください。

参考(北海道ハイヤー協会が実施するハイヤー料金の割引)
北海道ハイヤー協会に所属する事業所の営業車に乗車する際に、次の手帳を所持している方から手帳の提示があった場合、ハイヤー料金の一部を割引しています。
・身体障害者手帳
・療育手帳
・精神保健福祉手帳
(いずれの手帳も、全ての等級で割引が受けられます。)

春の全国交通安全運動

4月6日(火)～4月15日(木)

ストップ・ザ・交通事故死

～めざせワーストワン返上～

池北三町合併協議会解散

第5回合併協議会が、3月23日本別町で開催されました。第4回の会議で足寄町から協議会を続けていくのは困難との発言を踏まえて、解散について決定しました。それぞれの町が、新たな視点で今後の町づくりを模索していくことになりました。



児童虐待防止(子どもを虐待から守るために)

最近、子どもへの虐待のケースが、新聞やテレビ等により毎日のように報道されていますが、他人ごとではなく、ごく身近なところでもあり得ることであります。

虐待の防止等に関する法律では、「児童虐待を受けた児童を発見した者は、速やかに、福祉事務所(支庁の家庭児童相談室)若しくは児童相談所に通告しなければならない。」と定められており、「虐待を受けた子供を発見した方には、通告する義務があります。」
この場合、通告された方の秘密は守られますし、間違っても通告しても処罰されることはありません。

陸別町では、児童虐待の予防対策や早期発見、早期対応、再発防止のため「陸別町児童虐待防止ネットワーク会議」が設置されており、ケースの情報収集や検討を行うこととなっています。

どのように対処したらよいか困ったときには、次の機関にご相談ください。

- 役場保健福祉センター
- 民生児童委員
- 人権擁護委員
- 社会福祉協議会

<児童虐待とは?>

保護者(親または親に代わり現に子どもを監護している者)が、子どもに対して身体に危害を加えたり、適切な保護や養育を行わないことなどによって、子どもの心身を傷つけ、健全な成長・発達をそこう行為のことをいいます。

<どんなことが虐待?>

(1)身体的虐待

身体に傷を負わせたり、生命に危険を及ぼすような行為。

(2)性的虐待

子どもにわいせつな行為をすること、させること。

(3)ネグレクト(養育の怠慢、拒否)

子どもの心身の健全な発達をそこうなどの不適切な養育、監護の怠慢、あるいは、子どもの安全に対する重大な不注意や無関心。

(4)心理的虐待

「ことば」によるおどかしや拒否的な態度などで子どもの心を傷つける行為。

<虐待と判断するには?>

保護者がいくら一生懸命であっても、子どもの側にとって有害であれば虐待です。「しつけだから」とか「子どものためを思って」など、保護者の意図で判断するのではなく、その行為が子どもにとって有害かどうかという視点でとらえることが大切です。

重要なのは、「虐待か否か」ではなく、子どもに何が起きているかの判断です。

スポーツ安全保険に加入して、安心して体力づくり!!

【スポーツ安全保険】平成16年度分受付開始

区分	掛け金 (1人年額)	補償額(円)			
		通院日額	入院日額	後遺障害最高	死亡
A 子供のスポーツ(中学生以下の方)	500円	1,500円	4,000円	3,000円	2,000円
AW	1,050円	2,000円	5,000円	3,150円	2,100円
※ (団体管理下活動)		500円	1,000円	150円	100円
B 高齢者スポーツ(60歳以上の方)	800円	1,000円	1,800円	900円	600円
C 成人のスポーツ(高校生以上の方)	1,500円	1,500円	4,000円	3,000円	2,000円

<補償期間>

- ・平成16年4月1日～平成17年3月31日まで
- ・平成16年の3月中に申し込みいただくと4月1日より保険開始となりますが、それ以降の申し込みについては申込日の翌日または翌々日から平成17年3月31日までが保険期間となります。

<対象となる事故の範囲>

- ・スポーツ活動中と自宅・会場間の往復中の事故。但し活動の場所が町外の場合、スポーツ活動とは大会や研修、練習試合等をさし、個人的な活動は該当しません。(子供加入区分のAWを除く。)
- ・入院・通院保険金の支払いは入院および通院日数が4日以上の傷害に限られ、それぞれ180日・90日を限度として保険金日額が支払われます。
- 「AW区分」とは、町内外での個人的なスポーツ活動(団体管理下外)での事故も保険の対象となります。

【加入方法】

保険加入者の住所・氏名・生年月日を明らかにし、掛け金を持参して役場3階教育委員会へお申込みください。

※昨年加入していただきました平成15年度分の保険は、平成16年3月31日で保険期間終了となります。

ご不明な点がございましたら、教育委員会までお問合せください…
(電話7-2123)



冬季ミニバレー大会



音楽と健康を考える

介護ボランティア教室



ふれあいの集い



絵手紙講習会

中学校卒業式





保育所卒業式

菊地勇希くん（小5）第13回日専連全国児童版画コンクールにおいて日本版画協会賞受賞（第3位、86,650点の応募の中で）



陸別でADSLサービス開始インターネットが快適に



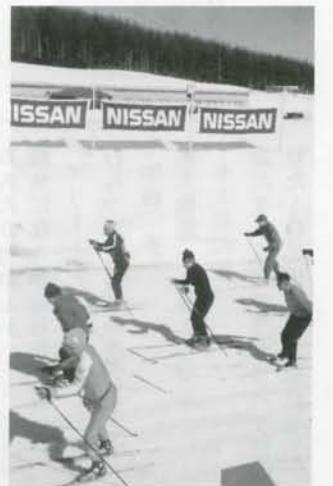
小学校卒業式



陸別・ラリージャパンを成功させる会発足



第10回ふるさと銀河線歩くスキーのつどい



史跡ユクエエド・ニラチャシ跡

平成15年度整備事業のまとめ

平成15年度史跡ユクエエドニラチャシ跡保存整備事業は、発掘調査・環境整備・雨水排水工事をいたしました。環境整備は平成15年度で完了し、雨水排水工事も16年度に完了する予定です。

発掘調査は前年度の調査に引き続き多くの成果がありました。平成15年度の調査は、これまで全く調査されていなかったC郭を中心に行いました。

C郭の中に何があるのか、C壕はどんな形をしているのか、C郭の周りにもA・B郭と同じように盛土があるのかといった点が調査の目的でした。

一番大きな成果はC郭の中にも柵があったことが分かったことでした。C郭の中で柱の穴が1列に並んで見つかったのです。この柵列の内側には深さ20センチ程の溝が平行して掘られていました（写真①）。平成14年度に調査したB郭でも柵列と平行して溝が見つかっていますので、この



写真① C郭内の柵列と溝



写真② C郭の周りの盛土の断面

チャシの柵には溝が伴っていたと言っただけでしょう。この溝は何のために掘られているのかは今のところ明確ではないのですが、柱で作った柵の内側に板を立てていた跡かもしれない。また、C壕の断面が丸底であったこと、C郭の周りにも盛土が巡っていることが確認できました（写真②）。とくにC郭の周りにも盛土が確認されたことで、チャシ全体が盛土で囲まれていることが事実となりました。このことから、チャシができたばかりの頃（17世紀以前）

は、チャシの周り全てが白やオレンジ色の火山灰で囲まれていたことが分かったのです。こうした成果に対して、今後の調査の課題も明確になりました。B郭とC郭とは、どちらが先に造られたのだろうかという疑問に答えが出せなかったのです。この問題はそのまま平成16年度の調査の目標になります。いずれにせよ、C郭の調査成果により、整備事業における遺跡の復元のためのデータが飛躍的に増えたのです。



教育委員会社会教育・社会体育担当 大鳥居 仁 主任

公民館 図書紹介

図書室だより

◇一般図書



◎捌き屋

新薬開発をめぐる製薬会社同士の利権争い。泥沼のトラブル收拾に乗り出す「捌き屋」たち。

浜田 文人

「信頼できるのは、カネだけだ！」異色のファイナンシャル・ピカレスク。

◇その他の新刊

幻夜…東野 圭吾

見えないドアと鶴の空

白石 一文

残虐記…桐野 夏生

ドール…沢村 拓也

たったひとつのたからもの

加藤 浩美

虹にピアス…金原ひとみ

蹴りたい背中…綿矢 りさ

わかっちゃいるけどほめられない！

高取しづか

夢の本…バメラ・ポール

◇児童図書



◎もうひとつのピアノ

（きこえる、きこえる。ほら、きこえる）美和は、またあの不思議な声が開こえたように思った。電車が突然止まった。そして、うしろにさがりはじめた。「スイッチバックね」うしろへひっぱられるような不思議な感覚が、全身をおそった。

山崎 玲子

◇その他の新刊

黒い虹よ、七色に…今関 信子

地下鉄のゴースト

シエロニモ・ステイルトン

学校犬クロの一生…今泉 耕介

なんだかうれしい…谷川俊太郎

魔女になんかなりたくない！

マリイ・デブルシヤン

わらってごらんゆきだるま

加藤 多一

狐犬物語 ハルとフブキ

水上美佐雄

忍たま乱太郎サラサラヘアになりた〜いの段…尼子騒兵衛

野生動物が深い雪で苦戦しています

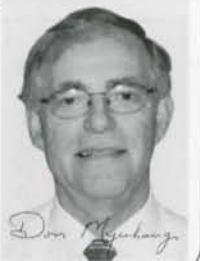
冬への準備

1月に十勝の一部で記録的な大雪が

降った日がたくさんありました。陸別でも何日も何日も、雪かきをしている町民のみなさんを見ていることが普通になってしまいました。また、家の屋根や牛舎まわりを除雪している姿も良く見かけました。私も雪かきに何時間も費やしました。それは、朝早かったり夕食前だったりしました。ある夜、あるお客さんにびつくりしました。私が雪かきをしていたとき、子供のきつねが歩いてきて、私のしていることを興味深そうに見ていたのです。そのきつねは、とても近くによつてきて、人間をちっとも恐れていないようでした。そのきつねは、私が雪かきをしている約10分間ほどじっとみつめていて、雪かきするのにつられて、あっちに行ったりこっちに來たりしていました。野生のきつねは陸別ではよく見られますが、カナダ人にとつては、とても珍しく、あまり知られていない動物です。私はそのきつねを追い払おうとしましたが、怖がる様子はありませんでした。そのあと、そのきつねは川の方の雪山に向かって立ち去ってしまいました。さらに大事なことに気づきました。私はこのきつねがひどい大雪で餌をとるのが難しくおなかをすかせて

いるだろうと思っていました。私はたくさん野生動物は、この寒く雪深い中で生きるのに精一杯ががんばっているのかと思いました。私は陸別のまわりの山にはたくさん鹿がいて、その鹿たちが冬に餌を探していることを知っています。山に住んでいるひぐまは寒く雪の深い季節には冬眠しています。冬に生き延びている動物は、我慢強く、強靭です。私は1月に私のところを訪れたきつねが、幸運にこの雪の多い季節を生き延び、太陽いっぱい暖かい夏にまた来てくれることを願うものです。

今月はこれで終わりです。また、来月お会いしましょう。



道の駅 足寄湖

緑の中にたたずむ北欧風の館、足寄湖を一望する小高い丘に建つチーズ工場「エーデルケーゼ館」が道の駅です。

◇施設紹介◇

◎1階 チーズ工場

ガラス窓からチーズの製造・熟成工程を見学できます。各国のチーズのパッケージや製造器材も展示。壁面のパネルでチーズの歴史や豆知識も学べます。

◎2階 喫茶「ハイデ」

工場で生産されたチーズを食べごろで調理します。ルーにチーズを入れ、さらに上から細かくきざんだチーズをふりかけたチーズカレーやトーストの上にマーマレードとチーズを乗せたチーズトーストセットは美味。晴れた日にはテラスで美しい足寄湖を見ながら味わうこともできます。

◎2階 売店

工場で製造された乳製品などが直売されています。

所在地 足寄町中矢673番地4

休館日 4月～10月は無休

11月～3月は毎週水曜日、第1日曜日、年末年始が休館

開館時間 4月～10月

午前9時～午後6時

11月～3月

午前10時～午後4時

【詳細】 エーデルケーゼ館

(チーズ工場)

電話5-3901



あしよるから

本別町歴史民俗資料館からのお知らせ

ほんべつから

「資料館友の会15年のあゆみ」展

歴史民俗資料館でボランティア活動を続ける「資料館友の会」が、結成15周年を迎えました。それを記念して、今までの活動のあゆみを発表します。本別町の開拓からの歴史、全国の博物館情報などが分かる展示となっていますので、ぜひご覧ください。

と き 4月5日(月)から4月16日(金)まで

と ころ 本別町歴史民俗資料館1階(図書館西側)

展示内容 ①会報「神居山」創刊号から68号、

および掲載写真、行事写真集

②発行誌「本別開拓人物誌録・斉藤栄山」

ほか

問い合わせ 歴史民俗資料館

(TEL2-2141内線410)まで



SPORTS TOPICS

スポーツ



第18回冬季ミニバレー大会

平成16年3月2日、陸別町教育委員会主催による第18回冬季ミニバレー大会が陸別中学校体育館で開催されました。この大会は2月23日に開催を予定していましたが、大雪のため延期となっていました。本大会には愛好者18チーム75名が参加し、予選リーグ後、6つの決勝リーグ戦に分かれて熱戦が繰りひろげられました。なお、各賞に該当しなかったチームを対象に抽選で5チームに幸運賞が授与されました。

成績結果

優勝 若葉3号
(浦島健造、瀧口和雄、千葉智子、牛来一恵)
準優勝 若葉1号
第3位 栄町

第6回町民しばれパークゴルフ大会

平成16年2月22日、陸別町教育委員会主催による第6回町民しばれパークゴルフ大会が下陸別町民運動場特設コースで開催されました。本大会には愛好者28名が参加し、小雪の降る悪コンディションではありましたが、7本のホールインワンがとびだすなど、9ホールのコースを3ラウンド合計27ホールで熱戦が繰りひろげられました。男子の部ではプレーオフの結果吉田寅雄さん、また女子の部では妹尾豊子さんが優勝しました。

成績結果

	男子の部 (スコア)	女子の部 (スコア)
優勝	吉田 寅雄 (66)	妹尾 豊子 (73)
準優勝	板花 和雄 (66)	望木 照子 (75)
第3位	我妻 秀雄 (67)	飯尾ノブエ (78)

平成15年度十勝東北部冬季スポーツ交流会

平成16年3月7日(日)陸別町の陸別中学校体育館において、平成15年度十勝東北部冬季スポーツ交流会(ミニバレー)が開催されました。開会式では、主催者を代表して山本厚一陸別町体育連盟会長、当番町の歓迎で金澤紘一陸別町長の挨拶がありました。また、選手宣誓では選手を代表して、陸別町の「オーロラ6号」チーム(羽藤樹美、三好陽平、谷口美奈、佐々木亜衣選手)が元気に宣誓を行いました。当日は3町から3種別に計27チーム約120名が参加し、熱戦が繰りひろげられました。

成績は以下のとおり

	優勝	準優勝	第3位
混成16歳未満の部	魂(ゴン)(本別町)	N(足寄町)	明球会(足寄町)
混成16歳以上の部	ゴールド(本別町)	オーロラ3号(陸別町)	ナンバー3(足寄町)
50歳以上の部	ホイップA(本別町)	オーロラ2号(陸別町)	オーロラ1号(陸別町)

第5回町民フロアーリング大会結果
(3月号記事)のお詫びについて
広報リクベツ3月号の記事の中で成績結果 優勝 東1条2区Bチームのメンバーに誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫び致します。
東1条2区B チームは
吉田寅雄さん、澤村 茂さん、藤本圭一さん、望木照子さん、高橋澄子さんです。

銀河の森コテージ村からのお知らせ

〈3月18日現在コテージ予約状況〉

※予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認下さい。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL7-4040 FAX7-4041)

4月	コテージ予約状況	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	6人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月	コテージ予約状況	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	6人用	●	●	●	●	△	△	○	●	○	○	○	○	○	○	●	△	○	○	○	○	○	△	○	○
	10人用	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

健康コーナー 69

☆平成16年度保健事業紹介

◇母子保健事業編

今回は母子保健分野で、新たに加わった事業や体制の変わった事業について紹介します。

保育所歯科検診

6月、11月に保育所園児を対象に行います。

3歳くらいまでは「虫歯をつくらないうちに頑張ろう!」と熱心におやつや歯みがきに関心を寄せる保護者の方も多いのですが、保育所入所を機会にお子さんの歯に対する関心が薄らいでしまう場合が多いようです。検診を通して虫歯の本数や程度、口の中の衛生状態がわかるので、これらのデータをもとめて今後の歯科保健対策にいかしていこうと思います。

フッ化物塗布

従来、1歳6カ月から3歳6カ月までのお子さんを対象に行ってきましたが、今年度からは上限を6歳まで拡大します。

なお、1歳6カ月児健診と3歳児健診では健診会場で塗布出来るようになります。



担当:保健福祉センター
保健師 徳尾友香

3歳児・1歳6カ月児健診

6月・9月・12月・3月に実施。従来の年3回から4回になります。

回数を増やすことで受診時の月齢の幅を縮めることと、一回に受診する人数を少なくし、細やかな育児相談が出来るように体制を整えていきたいと考えています。

保育所健康教育

保育所園児の保護者を対象に昨年度から実施しています。今年度のテーマは「性と性を考える」です。講師は地域で活動している助産師を予定しています。

健診の場面や保育士からの話でよく聞かれるのは「子供が性器を触るが親はどのように対応したらいいのだろうか。やめさせたほうがいいのか。」や「性教育はいつからどのように行うのがいいのか。」という質問が寄せられます。

最近幼児期からの性教育の大切さを主張する教育関係者も多くいることから、当町も企画しました。この機会に子供のみならず、保護者自身も自分の性や人生を考える機会になればと思っています。

以上、4つの事業を紹介しました。当町の子供の数は近年、減少しています。それ故に、集団化して教室を開いたり、事業の回数を増やすことが難しい状況にあります。

しかし、子供達が元気に健やかに育つように色々な形で健康づくりのお手伝いをしたいと思っていますので、今年度も母子保健事業をご活用下さい。



子どもの健診・予防接種カレンダー

16年度の健診・予防接種カレンダーは4月に配布予定です。そちらをごらんの上、お間違えのないように受けてください。



◇献血にご協力ありがとうございました

今年度3回目の献血が3月17日(水)、役場庁舎前で行われました。

ご協力いただいた人数は次の通りです。

・1回目(6月18日) 400ml献血27名、200ml献血7名

合計34名

・2回目(9月18日) 400ml献血33名、200ml献血9名

・3回目(3月17日) 400ml献血23名、200ml献血6名

来年度は次の日程で行われます。ご協力よろしくお願ひします。

・1回目 6月18日午後

・2回目 9月22日午後

・3回目 17年3月17日午前

町民文藝

陸別福寿草俳句会



行く人の皆生き生きと春の街	水温むかざら橋ある父の里	ゆらゆらと陽炎もえて土匂ふ	轉にふと足止めし散歩道	路の藎だけの明るさ無人駅	耳遠き二人の会話山笑ふ	声立てて笑ふ子となり麗けし	日脚伸ぶ本で楽しむ旅心	街路樹の固き風にも芽吹き初む	もの芽の育つ日和となりにけり	朽葉上げまばゆき光福寿草	万歩計麗かなれば歩も伸びて	自転車の並ぶ境内彼岸晴
文子	誠人	いさを	栄子	美千代	有子	和子	悦子	光江	君代	艶子	春子	ふじ江

お知らせ

今月号から町民文藝のコーナーを設けました。俳句、短歌、詩などの作品を募集します。町民課 広報広聴・統計担当までご連絡ください。

ご厚意

ご寄付ありがとうございます。社会福祉協議会 ボランティアセンター (愛情銀行)へのご寄付

- 新町2区 南山 修さんから社会福祉協議会に10万円が寄付されました。
- 関 小澤キネさんから社会福祉協議会に5万円、中斗満老人クラブに5万円が寄付されました。
- 下陸別 小西寿雄さんから社会福祉協議会に1万円が寄付されました。
- 陸別建設業協会 五月会会長 平木せい子さんから社会福祉協議会に3万円が寄付されました。
- 陸別カラオケクラブ会長 早坂勝巳さんから社会福祉協議会に3万円が寄付されました。

町民のうぶごき

うぶごえ

土屋柚子²⁵ 博威²⁵ 新町2区
たかま

おくやみ

小森幸子⁶⁶ 37新町2区
西岡光男⁸⁶ 37止 若
小西タカ⁹⁵ 39共栄第1
新國フミ⁸⁸ 312新町2区

けっこん

早坂きつよ⁹⁷ 316南斗満
(野原寿敏³³ 元 町
伊藤千香³³ 元 町
(中村謙介³¹⁵ 東1条2区
金子美季³¹⁵ 東1条2区

編集後記

春は、別れと出会いの季節と言われます。保育所での卒業式、小学校、中学校での卒業式を取材を通じて体感しました。なかでも、中学校の卒業式では体格のいい男子の卒業生が大粒の涙をこぼして会場をあとにしていたのが印象的でした。カメラのファインダー越しに彼らの青春の一幕を見ることができました。4月には、それぞれ新たなスタートとなります。初心に戻って仕事に勉強に頑張ってください。広報も新年度にあたり新しい企画を少しですが始めました。

町の人口・世帯数 16.2.29

人口	3,192人(+1)
男	1,583人(+3)
女	1,609人(-2)
世帯数	1,466戸(+1)

友好町民の会 **413**人(前月比±0人)

ホームページアドレス <http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>
携帯電話用ホームページ <http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp//>